

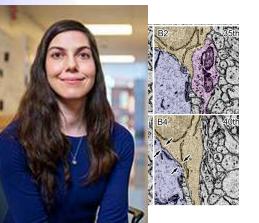
グリア細胞の生理機構解明とその遷移による中枢神経疾患に対する創薬戦略の国際共同開発

【目的】脳機能障害を起因とする精神・神経疾患、発達障害のグリア病態解明

グリアイメージング技術・リソースの共有化

カナダ拠点
ビクトリア大学

Dr. Marie-Ève Tremblay



グリアとシナプスのイメージング

カナダ拠点
マギル大学



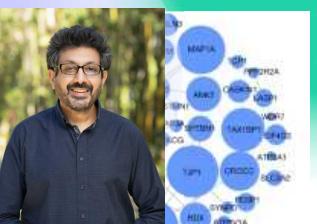
Dr. Keith Murai

【研究内容5】

疾患モデル動物のグリアとシナプスの解析
加齢や神経変性疾患に伴うグリア、
シナプス、血液脳関門の微細レベル
での病態を、FIB-SEMや超解像顕微
鏡を用いて明らかにする

グリア関連遺伝子・ タンパク質の網羅的解析

カルフォルニア大学
米国拠点



Dr. Baljit S Khakh

【研究内容3】

新規アストログリアオミクスによる脳機能と疾患の解明

マルチオミクス解析とマウスの行動・生体イメージングを組み合わせることで、アストログリアによる認知機能制御機構とその破綻時の発症機序を明らかにする。

【研究内容1】

感覚特異的ミクログリアの選択と遺伝子発現解析
感覚入力特異的ミクログリアの遺伝子情報、シナプスや血管との空間情報やミクログリアの動的情報を抽出し統合し、精神疾患モデルマウスでの破綻機構を探る。

神経・グリア関連遺伝子の網羅的解析

ドイツ拠点
マックス・プランク研究所

Dr. Anne Schaefer



【研究内容2】

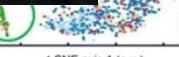
脳内マクロファージの統合的プロファイリングによる疾患メカニズムの理解
網羅的統合プロファイリングとイメージングによる発達期の挙動とその破綻による脳機能異常を明らかにする。

グリアに起因する疾患患者
のリソースの共有化

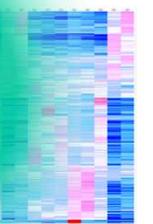
ドイツ拠点
フライブルグ大学



Dr. Marco Prinz



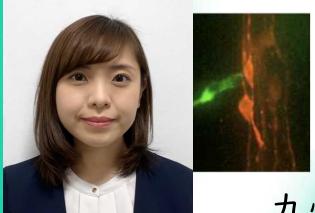
高深度マルチオミクス解析
九州大学



増田隆博

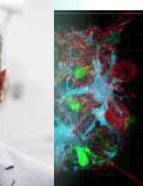
生体イメージング 名古屋大学

服部祐季



ミクログリア応答の生理学的解析

国立精神・神経医療
研究センター

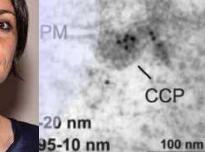


小山隆太

グリア微細構造解析
リソースの共有化



スイス拠点
ローランヌ大学



和氣弘明

生体イメージング 生理学研究所



行動試験マウス 細胞活動の可視化・操作

理化学研究所

長井淳



ニューロン・ グリアイメージング

山梨大学



小泉修一

【研究内容4】

ミクログリアの代謝機構の解明

新規培養系を利用した生理学的解析、電子顕微鏡による微細構造解析、in vivoにおける遺伝子発現解析によりミクログリアの代謝機構を明らかにする。

International collaboration to understand physiological mechanisms of glial cells and their pathological transitions

【Objective】 Elucidate the pathophysiology of psychiatric and neurological disorders and developmental disorders by glial derived brain dysfunction

